

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 1 月 24 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/24 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約2.0 m <sup>3</sup> /h	18.8	106.3 kPa abs	A系: 0.08 vol %
		給水系:約2.5 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.06 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.6 m <sup>3</sup> /h	32.1	6.51 kPa g	A系: 0.05 vol %
		給水系:約2.1 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.05 vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約3.5 m <sup>3</sup> /h	31.9	0.26 kPa g	A系: 0.18 vol %
		給水系:約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系: 0.17 vol %

\* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

[1号機]・1/24 14:10 ~ 14:54 電源切り替え工事に伴い、原子炉格納容器への窒素封入を一時停止。なお、原子炉压力容器への窒素封入については継続。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/24 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.0
2号機	循環冷却システム	運転中	12.1
3号機	循環冷却システム	運転中	9.8
4号機	循環冷却システム	運転中	21

\* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[1号機]・1/24 13:54 ~ 14:22 使用済燃料プールのスキマサージタンクに消防ポンプ車により水を補給するため、使用済燃料プール代替冷却系を停止。なお、運転再開時の使用済燃料プール温度は、冷却停止時の 10.0 のままで変化なし。(使用済燃料プールのスキマサージタンクに水を補給する際は、通常、ろ過水配管から水を補給するが、1/19 発生したろ過水配管ヘッドに取り付けられた弁からの漏えいにより、ろ過水配管元弁を閉止しているため、消防ポンプ車を用いてスキマサージタンクへ水の補給を実施。)

また、消防ポンプ車によるスキマサージタンクへの水の補給時に、原子炉建屋大物搬入口内の補給配管フランジ部より補給水(ろ過水)が漏えい。漏えい量は約2リットル(約2 m × 1 m × 深さ微小)であり、スキマサージタンクへ水の補給を停止することにより漏えいは停止。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	1/24 11:03 ~ 移送実施中

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/24 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/1/15 9:00 第二セシウム吸着装置(サリー)のフィルタ洗浄のため、同装置を停止。その後、配管部等の健全性確認を目的とした検査(非破壊検査)を実施。

・H25/1/22 10:37 第二セシウム吸着装置(サリー)の停止に伴い、タービン建屋の水位の状況等を踏まえて、セシウム吸着装置を起動。同日 11:15、定常流量に到達。

・H25/1/23 第二セシウム吸着装置(サリー)の配管部等の健全性確認の検査(非破壊検査)が完了。

・H25/1/24 11:28 第二セシウム吸着装置(サリー)を起動。同日 12:07( \* )、定常流量に到達。第二セシウム吸着装置(サリー)の起動に伴い、同日 12:30、セシウム吸着装置を停止。

( \* )第二セシウム吸着装置(サリー)における定常流量に到達した時間を、1/24 12:17 と記載していましたが、正しくは 1/24 12:07、定常流量に到達、となりますので訂正させていただきます。

< 5 . その他 >

・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5 , 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。

・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバールのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。

・H25/1/24 10:46 運用補助共用施設(共用プール建屋)地下1階西側において、火災報知器の警報が発生し、その後、現場作業員より、煙が発生したとの情報があったことから、同日 10:59、消防署へ連絡。

除染作業で床を磨く清掃機器を使用した際、当該機器の付属電源ケーブルより発煙したことから、作業員がすぐに電源ケーブルを抜いたところ発煙は停止。その後、当社社員により現場を確認したところ、現場に火や煙がないことから、同日 11:15、火災報知器の警報をリセットした。

同日 12:38、消防署により鎮火確認をしていただくとともに、本件は火災であるとの判断をいただいた。火災の原因については、今後調査予定。本事象によるけが人は発生していない。現時点でプラントへの影響は確認されておらず、共用プールの冷却は継続中。また、モニタリングポストの値に有意な変動はない。

以上